

日常的なキャリア教育をめざして

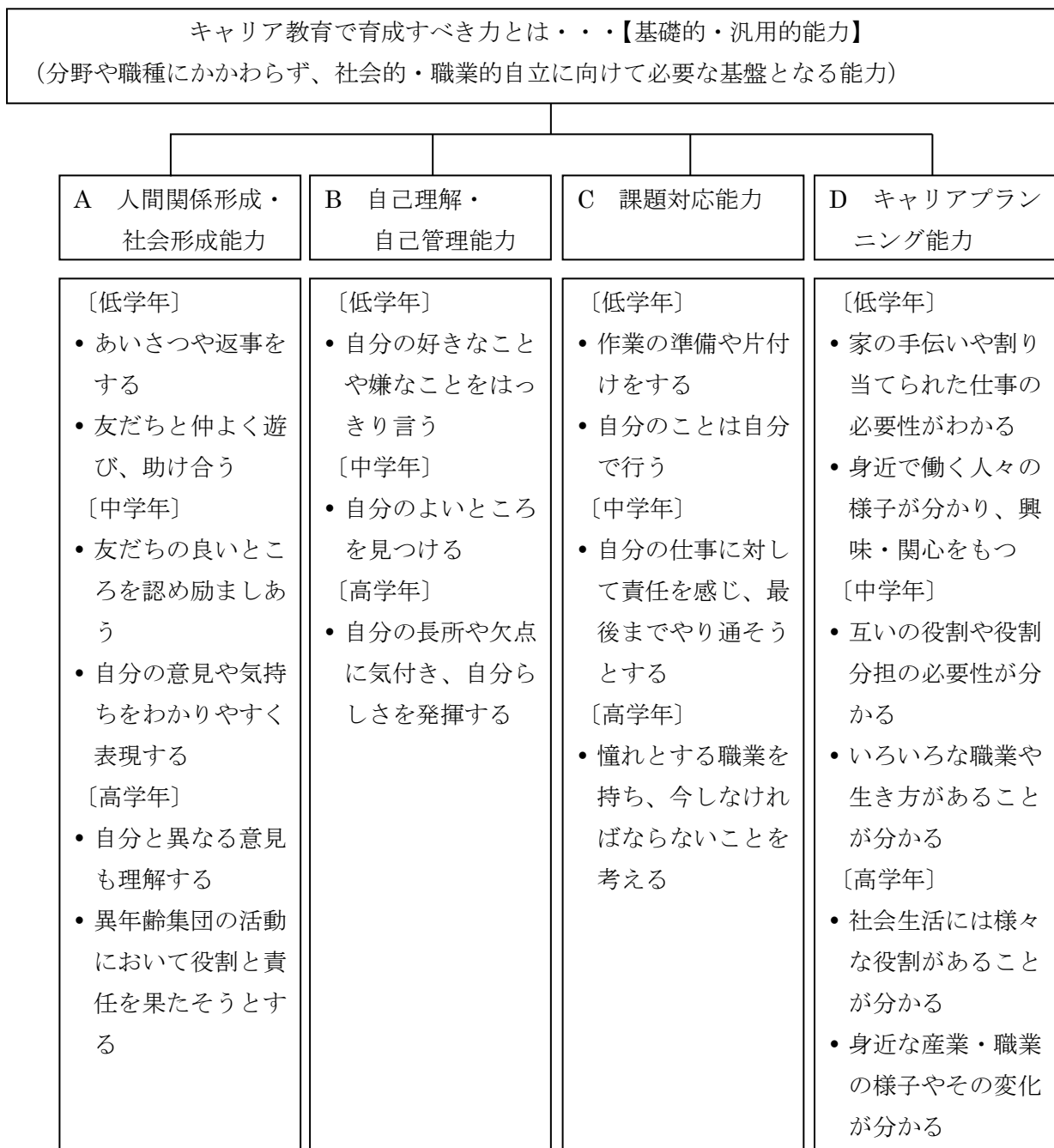
宮田村立宮田小学校

1 はじめに

キャリア教育で育成すべき力は「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」とされています。これは、生活科・総合的な学習の時間や行事においてだけでなく、日常的・意図的に教科等を通じて児童につけていきたい力です。そこで、宮田小学校では、日常的なキャリア教育を行うことをめざして、『長野県キャリア教育ガイドライン』（長野県教育委員会）をもとに、つける力を決めだし、教科等でキャリア教育を行っています。

2 宮田小学校教育課程基本計画より

(1)宮田小学校 キャリア教育全体イメージ図



(2) 教科等におけるキャリア教育 (例)

教科等	特支	1年	2年	3年
国語		あいさつをしたり好きなことを伝えあったりする	考えを出し合おう・友達に感想を伝える・うれしい言葉・大好きな物	感想を話したり、想いを文章に書いたりして発表する
社会				宮田村を知ろう・工場で働く人・お店で働く人
算数			表とグラフ(友達にアンケートをとってまとめる)	
音楽			リズム打ち	
図画工作				
保健体育		マットや跳び箱の準備や片付けを自分たちですること	ボール運動	
生活・総合	力を合わせて野菜作りや調理・電車に乗って出かける・夏祭りの計画と実施など	学校で働く人大きくなったぼくわたし(国語「いいこといっぱい一年生」と合わせて)	育てて食べよう、調理・大きくなったぼくわたし	りんご体験学習・りんご農家樋屋さんの仕事の様子・農家の仕事
英語・外国語活動		アイコンタクト・スマイル・ビッグボイス	アイコンタクト・スマイル・ビッグボイス	アイコンタクト・スマイル・ビッグボイス
道徳		お手伝い	気持ちの良いあいさつ・働くことの良さを感じて・命を大切に	社会のきまりを守って・ふるさとに親しみをもって
学活		係の仕事	係の仕事	係の仕事
行事				
その他	友達や先生と交流を深める・6年生を送る会	給食当番自分の身の周りのことを自分でする	給食当番係活動	給食当番係活動

教科等	4年	5年	6年
国語	新聞を作ろう・わたしの研究レポート・誰もが関わり合えるように	きいてきいてきいてみよう・次への一歩・活動報告書・明日をつくる私たち・百年後のふるさとを守る・わらぐつの中の神様	学級討論会をしよう・宇宙飛行士、ぼくが抱いた夢・感想文を書こう「未来がよりよくあるために」
社会	社会科新聞作り・くらしを守る・住みよい暮らしをつくる・郷土の発展に尽くす	私たちの生活と環境・私たちの生活と食料生産、工業生産・情報化した社会とわたしたちの生活	私たちの生活と政治
算数	(学び合い)	(学び合い)	
理科	生き物のくらし		
音楽	合唱・合奏	歌唱・器楽	
図画工作		心のもよう・わたしの宝物・糸のこスイスイ	
保健体育	サッカー・リレー・バスケットボール	キャッチキャッチアタックバレー・マラソン・組み体操など運動会の競技練習	地域の様々な保健活動
家庭		おいしい楽しい調理後から・食べて元気・一針に心を込めて・ミシンにトライ・我が家にズームイン	あなたは家庭や地域の宝物
生活・総合	副学籍の友だちとの交流	田んぼ学習・臨海学習の係活動・JICAとの交流	児童会なかよし班活動・1年生との交流「焼き芋大会をしよう」
英語・外国語活動			
道徳	同じ仲間だから(人と関わって)うれしく思えた日から・きっとできる(自分を高めて)	人とつながって・自分をみがいて・命をいとおしんで・みんなとつながって	短所を改め長所を伸ばして・希望と勇気をもってくじけずに
学活	係の仕事	係の仕事 宮田村を知ろう	係の仕事
行事	長野見学	収穫祭・臨海学習	児童会祭り・運動会係活動
その他	児童会当番活動	児童会当番活動	児童会運営・当番活動 地区児童会活動

3 授業の実際

今年度は、9月1日の祖父母参観日（地域公開参観日）に、全学級でキャリア教育を意識した授業を実施しました。

(1) 各学年の授業内容一覧

学級・教科	「単元名」 ・授業内容	キャリア教育として大切なこと
1年1組 国語	「ひらがなあつまれ」 ・グループでしりとりや言葉集めを楽しむ。	しりとりや言葉集めを通して友だちと <u>仲良く活動し、助け合う</u> ことができる
1年2組 国語	「ひらがなあつまれ」 ・グループでしりとりや言葉集めを楽しむ。	しりとりや言葉集めを通して友だちと <u>仲良く活動し、助け合う</u> ことができる
1年3組 国語	「ひらがなあつまれ」 ・グループでしりとりや言葉集めを楽しむ。	しりとりや言葉集めを通して友だちと <u>仲良く活動し、助け合う</u> ことができる
2年1組 英語	「あいさつをしたり、自分の名前を言ったり、いろいろな単語に親しむ」 ・自己紹介や物、天気などジェスチャーをしながら楽しむ。	「アイコンタクト・スマイル・ピックボイス」に気をつけて、単語や習った英語の文を <u>発音</u> して英語に親しむことができる
2年2組 国語	「ことば あそびをしよう」 ・「あいうえお」や名前をつかって、文作りを楽しむ。	「あいうえお」や名前をつかって、文を <u>考えて発表し合う</u> ことができる 困っている友だちに <u>アドバイス</u> をすることができる
2年3組 国語	「ことば あそびをしよう」 ・「あいうえお」や名前をつかって、文作りを楽しむ。	「あいうえお」や名前をつかって、文を <u>考えて発表し合う</u> ことができる 困っている友だちに <u>アドバイス</u> をすることができる
3年1組 国語	「わたしと小鳥とすずと」 ・詩の組み立てや内容について考え、音読する。	詩の組み立て（連）や内容、題名の「と」の意味について <u>考え合い</u> 、内容を考えながら <u>友だちと一緒に音読</u> する。
3年2組 国語	「へんとつくり」 ・同じへんの漢字を集めて、それぞれ何に関係があるか班で調べ、考える。	同じ「へん」の仲間を班の友達と協力しながら集める活動を通して、漢字にはどんな関係があるか <u>協力して調べたり、話し合ったり</u> することができる
3年3組 国語	「わたしと小鳥とすずと」 ・詩の組み立てや内容について考え、音読する。	詩の組み立て（連）や内容、題名の「と」の意味について <u>考え合い</u> 、内容を考えながら <u>友だちと一緒に音読</u> する。
4年1組 社会	「私たちの長野県」 ・長野県の産業や文化財について調べ、問題を作る。	地図や資料をもとに作った問題を <u>相手にわかりやすく表現</u> し、長野県に興味をもつ。

4年2組 社会	「私たちの長野県、宮田村」 ・長野県の地形を資料から調べる。 中越遺跡見学で分かったことをまとめる。	地図や資料をもとに <u>分かったことをわかりやすく伝えたり、中越遺跡見学から気づいたこと</u> が分かったりすることができる。
4年3組 社会	「私たちの長野県」 ・長野県の形や特徴を資料から調べる。	地図や資料から <u>気づいたことや分かったこと</u> をまとめたり、 <u>友だちの話</u> を聞きあったりして、長野県に興味を持つ。
5年1組 国語	「カンジー博士の暗号読解」 ・漢字辞典を活用しながら同じ音の漢字を見つけて正しく書く。	同じ音の漢字を書き分けるとともに、 <u>友達と相談し合</u> って問題を作ることができる。
5年2組 社会	「水産業のさかんな地域」 ・遠洋漁業ではどのように魚をとっているのだろうか	写真やグラフをもとに遠洋漁業の特徴を知り、資料から <u>漁師の工夫や努力</u> に気づくことができる。
5年3組 国語	「からたち」 ・詩から気付いたことを生かして、音読をする。	<u>友だちと協力しながら工夫点</u> を見つけたり、それを生かして工夫したところが <u>伝わるように</u> 音読したりする。
6学年 算数	「図形の拡大と縮小」 ・拡大、縮小の意味を理解し、拡大図をかく。	「協働」 自分の考えを友に <u>分かりやすく伝えたり</u> 、友から得たヒントをもとに <u>自分の力で問題</u> を解いたりすることができる。
特支5組① 国語 社会	「わたしと小鳥とすずと」 ・ことばを見つけよう 「長野見学の場所を調べよう」 ・自分が調べたい場所を写真や資料で詳しく知ろう。	・言葉に注目して調べたり、 <u>友達の話</u> を聞いたりして身の周りの言葉に興味を持つ。 ・ <u>友達と協力しながら調べ</u> 、長野見学の場所に興味を持つことができる。
特支5組② 国語	「ことばをあつめよう」 ・表の中にかくれている言葉を見つけよう。	・言葉集めを通して友だちと <u>仲良く活動し、助け合う</u> ことができる
特支6組③ 国語	「へんとつくり」 ・へんとつくりのカードを組み合わせて漢字を作る。	<u>友だちと協力し合</u> って漢字作りをして関心が持てるようになり、作った漢字を <u>発表</u> することができる
特支6組④ 算数	「図形の拡大と縮小」 ・拡大・縮小の意味を理解し、拡大図をかく	・ <u>自分の力で拡大図</u> をかくことができる。
日本語教室 算数・国語	算数 拡大と縮小 6年 国語 漢字暗号読解 5年	自分の力で問題を解いたり、友だちと関わって考えたりすることができる。

(2) 事例 4年1組社会「わたしたちの長野県」

① 主な学習活動

- ア 長野県の白地図に、これまで学んできた「長野県の山や川」「作られている農作物や名産品」「寺社などの文化財」をグループ内で協力して記入する。

イ アのプリントをもとに、長野見学の車中で行う学習クイズをひとり3問ずつ作る。

ウ 作ったクイズを班の友達に読んで聞かせて、問題の意図が伝わりやすく、選択肢が適切に設定されているか、助言しあう。

② 児童の様子

ア 長野県に関する情報を白地図に記入する場面

限られた時間に多くのことがらを記入する必要があったため、「ぼくは山や川の名前の漢字を調べるよ」「〇〇さんはお寺やお城の名前を調べてね」と、自然に役割を分担して調べたり書いたりしていた。活動を効率的に進めるためには役割を決めて行うとよいことを、体験的に学ぶことができた。

イウ 学習クイズを作り、友達と聞き合う場面

4日後の長野社会見学に向けて、「信濃の国の歌に出てくる、北信地方を流れる川は、犀川とあとひとつ何?」「善光寺の額の中には、鳩が何羽隠れているでしょう」等、車中学習用の三択クイズを作った。

作ったクイズを音読して、互いに聞き合う場面では、「うん、意味がちゃんとわかるよ」「問題の意味がちょっとよくわからないよ」「三択が簡単すぎるから、もう少し迷うような答えを入れてみたらどう」と、助言をし合う姿が見られた。子どもが作るクイズは、しばしば問題の意図が伝わりにくかったり、選択肢が不適切だったりすることがあるが、車中を想定して「友達に聞いてもらって、意味が通じるかどうか確かめる」という活動を取り入れたことで、相手意識をもってクイズを作ることができた。また、本時に作ったクイズを実際の長野見学の車中で使ったことによって、自分が仲間の役に立ったという経験や満足感につなげることができた。

4 まとめ

小学校では、キャリア教育といっても特別なことをするのではなく、発達段階に応じて子どもの自立をめざし、日々の授業を積み重ねていくことが大切であることがわかってきました。

実際の授業においては、「本時のねらい」を設定する際に、教科としてのねらいとともに、子どもの自立に向けてのねらいを意識することで、肩肘張らずに日常的にキャリア教育を実践していくことができるのではないかと感じました。日頃の授業の中で、子どもたちが自分らしさを発揮しながら、他者と協力できるような場面を、さらに増やしていけるようにしていきたいと思います。